

# 埼臨技だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7  
TEL 048 (824) 4077 FAX 048 (824) 4095 URL: <http://www.sairingi.com/>  
携帯URL: <http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

## 第46回 埼玉県医学検査学会情報

開催日：平成30年12月2日(日)

会場：大宮ソニックシティ

テーマ：『<sup>ひら</sup>拓く』

サブテーマ：～手を広げ、見て、聞いて、知って、覚えて、繋がって～



会計部長 大谷 真澄

第46回埼玉県医学検査学会にて会計部長を務めさせていただく、埼玉県立小児医療センターの大谷真澄と申します。新緑の美しい季節を迎え、皆さまの施設におかれましても新人さんたちがいきいきと活動し始めているのでは、と嬉しく感じています。

さて、会計部は2名から成る少数精鋭(?)の完全後方支援部隊です。学会はタダでは開催できませんので、皆さまからお預かりしている会費、賛助会員さまからの協賛金、学会への参加費などの貴重な資金を、いかにムダなく有効に使用するかと、日夜知恵を絞り電卓をたたいております。

この学会が、皆さまは新しい知見を、賛助会員さまは市場拡大を、私たち実行委員会は達成感をそれぞれ得ることができる、“3方1両得”となりますよう努力してまいります。たくさんのお運びを心よりお待ちしております。



### 平成30年度埼臨技会員名簿作成についてのお願い

平成30年度埼臨技名簿作成に関する早急なお願いです。

#### 1. 新入職員の会員登録はお済でしょうか？

平成30年5月31日(木)の登録情報をもとに名簿作成いたします。名簿掲載希望の方は期日までに登録をお願いします。

尚、勤務先の登録がない場合、施設会員とならず自宅会員扱いとなり、配送物や各連絡が自宅へ届くこととなります。施設内での配送物の不足等にも繋がりお互いに迷惑を被ることとなります。

## 2. 勤務先が変わった方、登録変更はお済でしょうか？

今年度より異動等で勤務先が変わった方、勤務先の変更はお済でしょうか。まだの方は日臨技ホームページの会員のページより勤務先変更を速やかに行うと共に、埼臨技事務所にご連絡ください。

埼臨技への連絡がないと配送物や各連絡が前施設へ届くこととなり、お互いに迷惑を被ることとなります。皆様のご理解及びご協力お願いいたします。

## 3. 平成30年度会員名簿の配布および名簿不掲載のお申し込みについて

埼臨技会員名簿はCD（コンパクトディスク）で作成し、配布は会員の所属する施設および賛助会員に1部、各研究班に2部とし、会員個人には希望される方にのみに配布することとします。

つきましては、会員名簿の配布を希望する方は、下記の通りお申込みいただきますようお願いいたします。発刊するCDは個人情報保護のため前回同様ファイルのコピー、印刷は出来ませんのであらかじめご了承ください。

また、会員名簿への不掲載を希望される方につきましても、下記の通りお申込みいただきますようお願いいたします。

尚、以前より不掲載を希望されていた方につきましては、本年度も継続いたしますので連絡は不要です。

申込期限：30年5月31日(木)

メールまたはFAXでお申込み下さい。

件名（標題）を「勤務先変更」、「名簿希望」または「不掲載希望」として、  
会員番号および氏名、勤務先変更の場合は新勤務先を送信して下さい。

連絡先：公益社団法人埼玉県臨床検査技師会事務所

TEL：048-824-4077 FAX：048-824-4095

E-mail：sairingi@sairingi.com

# 求人案内

### ○医療法人社団 全仁会 上野病院

採用条件：正職員

連絡先：03-3833-8111 菅谷

### ○埼玉県立小児医療センター

採用条件：非常勤職員

連絡先：048-601-2200 内線2911  
事務局／総務職員担当 星野、藤平

### ○独立行政法人 地域医療機能推進機構 群馬中央病院

採用条件：臨時職員（パート）任期付き常勤職員

連絡先：027-221-8165 内線2351  
総務企画課 早川健夫

### ○一般社団法人 浦和医師会メディカルセンター

採用条件：臨時職員

連絡先：048-824-1629 内線301  
検査部 大倉・石田

### ○フクダ電子西関東販売株式会社

採用条件：臨時職員（パート）嘱託職員

連絡先：048-710-2265 管理課 加賀

### ○埼玉県済生会栗橋病院

採用条件：臨時職員（パート）

連絡先：0480-52-3611  
内線 86403 人事課：横井  
内線 86320 検査科：猪浦

給与、社会保険等、詳細につきましては掲載してある連絡先にてご確認をお願いいたします。

## 各研究班の研修会報告を致します。

### テーマ チーム医療としての心臓リハビリテーション

主催 生理検査研究班

実施日時：平成30年 1月27日 14時00分～18時00分

会 場：自治医科大学附属さいたま医療センター 南館 2階 講堂 点数：基礎教科ー20点

講 演 1：基礎から学ぶ心肺運動負荷試験 (CPX)

講 師：高口 勝太 (ミナト医科学株式会社)

講 演 2：心臓リハビリテーションにおける臨床検査技師の介入と実際

講 師：小俣 諭子 (獨協医科大学埼玉医療センター 臨床検査部)

講 演 3：CPXデータを用いた当院リハビリテーションの実際 (作業療法)

講 師：田口 洋輝 心臓リハビリテーション指導士・作業療法士

(獨協医科大学埼玉医療センター・リハビリテーションセンター)

講 演 4：CPXデータを用いた当院リハビリテーションの実際 (理学療法)

講 師：高橋 克幸 心臓リハビリテーション指導士・理学療法士

(獨協医科大学埼玉医療センター・リハビリテーションセンター)

参加人数：会員32名 非会員10名 (作業療法士、理学療法士)

出席した研究班班員：早川勇樹 瀧沢義教 関口知詠子 田名見里恵 丸山陽介

研修内容・感想など

今回は、心肺運動負荷試験 (Cardio Pulmonary Exercise test : CPX) をテーマに取り上げた。心血管病患者を対象とした心臓リハビリテーションでは、CPXデータに基づいて医師が個々の患者の身体能力に見合った運動処方を行い、有酸素運動を中心とした運動プログラムを組んでいる。CPXは心臓リハビリテーションを行う上で必要不可欠な検査となっている。

研修会では、CPXの基礎、CPX検査の実際とCPXデータを用いたリハビリテーションの実際について、医療機器メーカー、臨床検査技師、作業療法士と理学療法士の方々に講演をお願いした。

講演1では、高口氏にCPX検査基礎的事項の講演をお願いした。講演内容としては、CPX検査について①AT (Anaerobic Threshold) ポイントについて②ATポイント、RC (Respiratory Compensation) ポイントの決定方法③CPX検査により確認可能な心疾患の傾向や程度の判定について④運動処方の作成⑤検査中に確認すべきポイント⑥器械の故障と思われる前に技師が確認すべき点などであった。

はじめにATが出現するメカニズムについての話があり、「AT以下の運動は、より安全で効率が良い運動強度である。」と述べられていた。講演では、スライドにエルゴメーター用いたCPXデータを示し、ATポイント決定方法の話があった。また、CPXウォームアップ時、安静時や検査中に確認すべきポイントについての話があり勉強になった。

講演2では、小俣氏に講演をお願いした。講演内容としては、①CPX検査前における準備時の注意点②CPX検査中の注意点などであった。

心臓リハビリテーションにおいて臨床検査技師にとって求められていることは、「医師やリハビリテーションセンターの希望に添えるような、安心して安全な検査やレポートを提供することである。」と話されていた。また講演では、CPX検査において安全・安定したデータを得るため

に必要なこと、検査前の準備や注意点などとして、①CPX検査室の環境整備②ウォーミングアップの必要性③校正について④患者情報の入力について⑤検査前の患者への検査説明⑥マスクの装着と呼吸の注意点⑦サドルの調整と姿勢などの注意点などの話があった。

CPX検査のコツとして良いデータを得るためには、「検査前患者に対してのCPX検査説明をしっかりとすること、検査中の技師や医師による上手な声掛けが必要である。」と話されていた。講演では、実際検査中どのような声掛けをしているか、注意すべき点なども含め話があった。また、「患者の協力がなければよいCPXのデータは得られない。」と話されていた。講演では、CPX検査の注意点や検査ポイントなどの実践的な話が聞けて勉強になった。

講演3と4では、生理機能検査室で行ったCPX検査結果を心臓リハビリテーションの現場でどのように活用しているかを学ぶため、またチーム医療を学ぶ良い機会でもあると思い、今回の講習会で理学療法士と作業療法士の方に講演をお願いした。

講演3では、田口氏に講演をお願いした。講演内容は、①当院リハビリテーションセンターの紹介②作業療法の紹介③CPXと作業療法であった。

はじめに当院外来心臓リハビリテーションの流れの説明があり、多職種で包括的に関わっている話があった。

Bradley G. Circulation. 2010;121:63-70.の論文によると、外来心臓リハ参加回数と死亡率の関係であるが、積極的参加（週2-3回）は、ほとんど不参加（月1回）に比べ47%低い。通院リハ回数が多いほど死亡率は低いとのデータを紹介していた。

作業療法（生活動作）とCPXの関係は、「適正活動量の把握と手の届く目標を明らかにすること。心臓リハにおける作業療法は、CPX結果と生活動作を結ぶ役割がある。」と述べていた。

最後に急性心筋梗塞患者の症例報告があった。初回と3ヶ月後のCPX結果を提示し、CPX結果と生活解釈や患者指導の話があり勉強になった。

講演4では、高橋氏に講演をお願いした。講演内容は、①心臓リハビリテーションにおける運動療法とは？②CPXから何がわかるのか？③ATレベル以下の運動の特徴④CPXの結果から作成する運動処方⑤運動療法時の注意点であった。

2例の症例報告があった。CPX症例1例目は、陳旧性心筋梗塞患者であった。CPX結果1回目、CPX結果2回目とCPX1回目と2回目の比較スライドが示しながら、詳しい心臓リハビリテーションの話があった。この症例では、1年間のリハビリ施行によって運動療法の効果が認められた。日常生活において通勤および教室移動の際の階段昇降時の息切れはみられなくなった。今後は通院リハを終了し、地域のジムでバイタルサイン等を自己管理しながら継続方向としたとの報告があった。続いてCPX症例2としては、心不全患者の症例報告があった。

CPXの結果から作成する運動処方やリハビリ施行によって運動療法の効果が認められた症例の話が聞けて勉強になった。

最後に演者は、「運動処方に応じて運動療法を行うのは、私たち理学療法士、作業療法士である。臨床検査技師の方々は、医師と協力してCPXを施行し最適な運動強度を示してくれる。これからはチーム医療として協力して携われれば患者さま個人に最適で効果があるリハビリを提供できると考えている。」と、話されていた。

CPX検査は心臓リハビリテーションをより安全で効果的なものにし、そのリハビリ効果を客観的に確認するための必須アイテムである。今回の研修会は、CPXを実際に行っている方も、これからは始める方も勉強になったと思われる。今回研修会には、臨床検査技師以外に作業療法士や理学療法士の方10名の参加があった。

(文責：瀧沢義教)

平成30年度  
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会  
第1回 理事会議事録

日 時：平成30年 4月12日(木) 19時00分より

場 所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家 7-14-7

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項  
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出 席：(理事)津田 神山 岡田 矢作 小山  
奈良 猪浦 長岡 松岡 小島  
濱本 藤井 神嶋 長澤 伊藤  
濱田 武関 山口 鳥山 阿部  
(監事)遠藤 細谷

欠 席：(理事)島村 石井

本日の理事会の出席者は22名であった。理事の出席者は20名で、現在数22名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、津田聡一郎会長が務めることとなった。

Ⅰ. 行動報告(平成30年3月8日～平成30年4月11日)

3月12日(木)平成30年度第12回理事会：

津田、神山、矢作、小山、奈良、猪浦、長岡、松岡、小島、石井、濱本、藤井、長澤、神嶋、伊藤、山口、武関、阿部、遠藤

3月10日(土)文京学院大学卒業式：矢作

3月10日(土)東武医学技術専門学校卒業式：神山

3月10日(土)埼玉医科大学卒業式：松岡

3月11日(日)会計作業(事務所にて)：石井

3月14日(水)西武学園医学技術専門学校卒業式：津田

3月15日(木)平成29年度臨時会員総会：

津田、神山、島村、岡田、矢作、小山、奈良、猪浦、長岡、松岡、小島、石井、濱本、藤井、長澤、神嶋、濱田、武関、阿部

3月15日(木)埼玉県立大学卒業式：岡田

3月16日(金)第46回埼玉県医学検査学会第5回実行委員会：長岡、神嶋

3月17日(土)会計作業(事務所にて)：石井

3月22日(木)埼玉県医師会臨床検査精度管理調査講習会：

津田、神山、岡田、山口

3月24日(土)会計作業(事務所にて)：石井

4月5日(木)会計作業(事務所にて)：松岡、石井

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

1) 3月15日、平成29年度臨時会員総会が開催された。

2) 3月30日、埼玉県へ平成30年度事業計画書等を提出した。

3) 3月10日、文京学院大学卒業式に矢作常務理事が出席した。

4) 3月10日、東武医学技術専門学校卒業式に神山副会長が出席した。

5) 3月10日、埼玉医科大学卒業式に松岡常務理事が出席した。

6) 3月14日、西武学園医学技術専門学校卒業式に津田会長が出席した。

7) 3月15日、埼玉県立大学卒業式に岡田副会長が出席した。

2 総務部

1)「埼臨技だより」第467号、4月15日発行予定

3 事業部

1)特になし。

4 学術部

1) 4月15日、平成30年度6月・7月生涯教育研修プログラム発行予定。

5 精度保証部

1)特になし。

6 会計部

1)平成30年度正会員費2,682名分13,410,000円、入会金8名分8,000円、合計13,418,000円の入金があった。

2)生涯教育推進研修会助成金50,000円×1研修会、合計50,000円の入金があった。

3)石井印刷へ、埼臨技会誌Vol.64 NO3印刷費448,632円、埼臨技だより第466号印刷代87,383円、仕分代24,062円を支払った。

4)エッチ・アンド・ティーへ、会員管理システム年間保守費用216,000円を支払った。

5)理事各部、各研究班に平成30年度前渡金を振り込んだ。

7 精度管理委員会

1) 3月22日、埼玉県医師会臨床検査精度管理調査講習会が開催された。

8 一都八県会長会議

1)特になし。

9 日臨技関甲信支部

1)特になし。

10 日臨技

1)特になし。

11 第46回埼玉県医学検査学会

1) 3月16日、第5回実行委員会が開催された。

Ⅲ. 承認事項

1 事務局



- 1) 会員動向(平成29年度分)  
平成30年 4月 1日現在  
会員数 2,869名  
(新入会員 39名[平成29年度会員数2,897名])  
賛助会員 20社[平成29年度 86社]  
承認された。
- 2) 平成30年・31年度各委員会委員について  
承認された。
- 2 総務部**
- 1) 特になし。
- 3 事業部**
- 1) 特になし。
- 4 学術部**
- 1) 平成29年度埼臨技会誌優秀論文賞について  
第64巻 3号 (Vol.64 No.3 2017) 分類: 研究  
テーマ: 急性骨髄性白血病患者における  
「WT1アッセイ」を用いた早期  
再発予測の有用性  
飯野 望 氏 (埼玉医科大学保  
健医療学部臨床検査学科)  
を平成29年度埼臨技会誌優秀論文賞とする  
ことで承認された。
- 5 精度保証部**
- 1) 特になし。
- 6 会計部**
- 1) 特になし。
- 7 精度管理委員会**
- 1) 特になし。
- 8 第46回埼玉県医学検査学会**
- 1) 学術権限追加取得希望者について  
急式政志委員、岩崎篤史委員にJAMTIS  
の学術権限を付与することで承認された。
- IV. 議題**
- 1) 第47回埼玉県医学検査学会学会長候補者について

- 矢作事務局長より第47回埼玉県医学検査学会学会長候補者について発言があった。これを受けて理事会審議の結果、来住野修氏(埼玉医科大学保健医療学部・臨床検査学科)を候補者とすることを出席理事全会一致で承認し、平成30年度定時会員総会に上程することとした。
- 2) 平成30年度埼臨技功労者表彰について  
矢作事務局長より平成30年度埼臨技功労者表彰について発言があった。これを受けて理事会審議の結果、津田聡一郎氏(第54回日臨技関甲信支部・首都圏支部医学検査学会学会長)を埼臨技功労者として表彰することを出席理事全会一致で承認し、平成30年度定時会員総会にて表彰することとした。
- 3) 平成30年度定時会員総会について  
矢作事務局長より平成30年度定時会員総会資料について発言があった。これを受けて理事会審議の結果、出席理事全会一致で承認された。
- 4) 技師会所有のPC管理について  
山口学術部長より技師会所有のPC管理について発言があった。これを受けて理事会審議の結果、ソニックシティに常備しているPC4台を2台とし、2台は事務所に管理アップデートを行い、定期的に入れ替えを行うことで、出席理事全会一致で承認された。
- 5) 研究班PCについて  
山口学術部長より研究班PCについて発言があった。これを受けて理事会審議の結果、各研究班にPC1台を貸与することで、出席理事全会一致で承認された。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

## あ と が き

5月になりました。5月5日は立夏で、暦の上では早くも夏を迎えました。気温も上昇して先月末には最高気温が25℃を越す日もあり、気候も夏に近づいている気がします。

最近急に日差しが強くなったため、日焼けに注意したいですね。また、この季節は体が暑さに慣れていないので、熱中症にもなりやすいらしいそうです。

アウトドアのイベントや釣りなどにもよい季節です。日焼け対策や熱中症予防など早めに備えて、新緑の季節を楽しみましょう。

(奈良 記)

